

患者さんが知りたかった
歯科医療情報が満載です！



くちペディア

眞木吉信・萩 名子 編著

B5判/112頁

定価 5,500 円 (本体 5,000 円 + 税 10%)

医歯薬出版 (2020 年 9 月)

東京歯科大学生物医学研究室教授
評・橋本貞亮 (歯科医師)



小さな子どもからお年寄りまで人々の口から齲蝕を撲滅するために、「フッ素」の伝道師(?)としてその効用を説きつづけてきた口腔衛生の専門家、眞木吉信先生と、健康やストレスの問題に向き合いながらカウンセリングのテクニックで目の前の人たちの心を優しくほどこしていく、萩 名子先生。本来なら交わることのなさそうな 2 人が、10 年もの間いっしょに書きつづけてきたというニュースレター。治療に訪れる患者さんや歯科健診を受診する一般の人たちに向けての情報提供を目的とした「お口の時間」が、1 つの本になりました。

題して『くちペディア』。やわらかくわかりやすい文章にかわいらしいイラスト、さらにグラフや表がたくさんあって読みやすい。その名の

とおり、「くち」についての基本的なことから最新のトピックスまで、患者さんとお話するときにはきっと役に立つ情報や話題のあれこれが、チャイルド、ジュニア、アダルト、シニア……と、各年齢層別にすっきりとまとめられています。齲蝕予防や歯周病のお話に留まらず、新型コロナウイルスや免疫の話、摂食嚥下やオーラルフレイル、口腔がん、コミュニケーションのテクニックに至るまで、守備範囲は広い。ちょっと専門的でもおもしろいお話も、「オピニオン」や「Column」,「歯医者さんの謎」のなかにたくさんあり、読者を飽きさせません。

一般の人たちへの情報発信がテーマとなっていますが、いやいやとんでもない。思わず、えっ? そうだったの? と突っ込みたくなるような話題が満載です。“残っている歯の本数は増えたけれど、むし歯も増えた?”、“歯みがき剤を使わない歯みがきや、甘いものの制限によるむし歯の予防効果は不明確?” などなど、ドキッとするフレーズ。まさか! いやいや、ちょっと待って! 私たちは、患者さんに毎日、ブラッシングの大切さを伝えているというのに……。それでも、読み進めていくと、根拠となる疫学的データがきちんと示されていて、その説明に思わず納得。

フェイクニュースや不確かな情報^{あふ}が溢れるこの世界だからこそ、信頼できるエビデンスに基づく医学 (EBM) を一人ひとりに提供していくことはとても大切です。日常のなかで当たり前だと思い込んできた基本的なことをあらためて見直し、^{あいまい}曖昧のままにしてきたことやちょっと自信のなかったことを、もう一度、きちんと知ることによって、患者さんとも自信をもって話ができるようになる。そうすれば、明日からの診療風景だって、すこし変わってくる……。

本書はきっと、そんなきっかけをくれる 1 冊です。